



若狭湾サイクリングルート (わかさいくる)

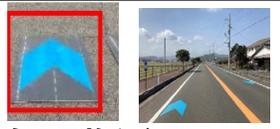
(つるが わかさ)

○「敦賀若狭の海湖(うみ)を楽しむ!!」をテーマに、JR敦賀駅からJR若狭高浜駅までの6市町を結び、三方五湖や若狭湾岸、主要観光地を楽しめるルートについて、官民連携による協議会を設置し、走行環境や受入環境の整備を推進している。

〔 若狭湾サイクリングルート推進協議会 (メンバー: 有識者、サイクリング協会、JR西日本、国、県、市町、観光団体、商工団体、警察) 〕

快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

- 路面表示、案内看板等の整備
 - ・車道上に矢羽根等の路面表示、統一的な案内看板等を整備 (2021年～) (路面表示(矢羽根))
- 自転車損害賠償責任保険等の加入義務化(条例2022年7月施行)
 - ・自転車利用者およびレンタサイクル、シェアサイクルなど事業活動における自転車利用についても保険加入等を義務化



ロゴマークと愛称「わかさいくる」の活用



若狭湾サイクリングルートのPRに向け、ロゴマークと愛称を全国から公募・決定

【ロゴマークデザインコンセプト】
・自転車のフレームを若狭湾の「W」に見立て、外国人にもわかりやすくデザイン。5つの半円は波と若狭湾の「W」を表し、海辺を走り抜ける疾走感と楽しさを表現

サイクルツーリズム推進のための取組

- サイクリングガイド養成など受入環境整備、地域の機運醸成
 - ・サイクリングガイドを養成するとともに、国内外のサイクリストを対象にモニターツアーを実施し受入環境を整備促進
 - ・地域住民や事業者を対象にワークショップの開催、実走イベントやスタンプラリーを開催し、地域の機運醸成
- 県内外への情報発信、他県連携による勉強会やPRの実施
 - ・SNS(Instagram、Twitter、Facebook)の開設や他県と連携した勉強会の開催、フォトコンテストによりPRを実施
- シェアサイクル、レンタサイクルをルート上の全市町に設置
 - ・JR敦賀駅など、小浜線の主要駅に設置 (一部地域では乗り捨てやEバイク利用も可能)
- 「自転車の駅」の充実・拡大
 - ・空気入れや工具等を提供する「自転車の駅」を設置 (2022年4月現在 6市町に60か所整備)
- エリア内に各地域をめぐるサイクリングルートが複数存在
 - ・三方五湖周遊ルート(ゴコイチ)、鯖街道サイクリングルートなど若狭湾サイクリングルートから広がる複数のルートが存在
- 民間主催のサイクリングイベントが開催
 - ・若狭路センチュリーライド(2012年～ 2022年1200名参加)や、レインボーラインを利用したヒルクライムレースが開催
- 景観の積極的な維持・確保
 - ・若狭幹線などで若狭湾を見渡せる景観確保のため支障木を伐採

福井県

全長126km (三方五湖は1周半)

地理院地図にルートを追加して掲載

水晶浜

三方五湖レインボーライン 山頂公園

気比の松原

三方五湖

JR敦賀駅

若狭和田ビーチ

若狭湾

国道162号 海岸線

青戸の大橋

若狭幹線

JR若狭高浜駅

若狭路センチュリーライドの様子